

## ラクスパークの抑制作型における短日処理の効果

佐藤成利<sup>\*</sup>・菅原和仁<sup>\*\*</sup>

(\*岩手県花巻農業改良普及センター・ \*\*岩手県立農業大学校)

Effect of Short-day Treatment in *Consolida Ambigua*'s Restraint Cropping Type

Narutoshi SATO<sup>\*</sup> and Kazuhito SUGAWARA<sup>\*\*</sup>

(\* Hanamaki Agricultural Improvement and Extension Center, \*\* Iwate Agricultural Junior College)

### 1 はじめに

比較的冷涼な気候を好む相対的長日性植物であるラクスパークは、抑制作型においては生育期が高温期を経過するために、良品生産が難しく、また、開花期も前進化する傾向にある。そこで、岩手県沿岸地域の夏期冷涼な気象条件を活かしながら、短日処理による高品質生産を行う技術、出荷期間の拡大策をここに報告する。

### 2 試験方法

- (1) 試験年次 2000～2001年
- (2) 供試品種 サンシャインライラック
- (3) 試験場所 岩手県農業研究センター  
南部園芸研究室圃場(陸前高田市)
- (4) 試験区の構成  
播種日を、6/4、6/20、7/5の3期にわけ、各々、定植後30日間、短日処理区と無処理区を設定した。短日処理は、ホワイトシルバー100により17時から翌朝9時まで被覆し8時間日長処理とした。
- (5) 栽植距離  
床幅90cm、通路90cm、株間12cm、条間12cm  
6条植え

### 3 試験結果及び考察

#### (1) 品質

7/17以降に定植したものは、育苗期および定植後に30日間、8時間日長の短日処理を行うことで切花長、切花重、莖径、節数等が増加するが、7/9

に定植したものでは、短日処理による品質の向上は認められない。このことから、品質の向上においては、7月中旬以降の作型において短日処理が有効であると考えられた。(表1-1, 表1-2)

#### (2) 規格別割合

7/17以降に定植したものは、育苗期および定植後に30日間の短日処理をすることで2L品の割合が増加し、7/17定植では全体の50%を越え8/9定植では約76%となった。しかし、7/9定植では、2L品の割合は全体の15%に満たなかった。このことから、2L品の割合増加のために、短日処理は有効であるが、7月中旬以前の定植では効果は認められないと考えられた。(図1)

#### (3) 開花抑制

今回試験したどの定植日においても短日処理を施すことにより、10日間以上、採花期を延長させることができ、定植時期が遅くなるほど開花抑制効果は大きくなった。(表2)

### 4 まとめ

7月中旬以降定植の作型において、育苗期および定植後30日間の短日処理により切花長、切花重の増加が見られ、2L品率が向上する。また、定植期により差があるが、短日処理により約10～20日間開花を抑制することができる。また、当技術は、夏期冷涼、当期温暖な地域で活用されること、および、生育の揃った充実した苗を用いることで効果が期待できる。

引用文献

- 1) 土居典秀. 1995. 1～2年草の開花調節マニュアル.  
いしずえ. P 68-69

表1-1 定植後の短日処理が品質に及ぼす影響

定植日 (播種日)	短日処理 の有無	切花長 (cm)	切花重 (g)	茎径 (mm)
7月9日 (06/04)	有	88.4	24.8	4.6
	無	94.9	26.0	4.8
7月17日 (06/20)	有	99.9	36.9	5.1
	無	95.8	28.3	4.9
8月9日 (07/05)	有	111.7	52.4	5.9
	無	101.9	40.7	5.4

表2 短日処理が採花期に及ぼす影響

定植日	短日処理 の有無	採花始 期	採花盛 期	採花終 期
7/9	有	8/30	9/6	9/12
	無	8/24	8/28	9/4
7/17	有	9/13	9/19	10/5
	無	9/5	9/8	9/13
8/9	有	10/16	10/29	11/13
	無	10/5	10/9	10/18

表1-2 定植後の短日処理が品質に及ぼす影響

定植日 (播種日)	短日処理 の有無	節数 (節)	花穂長 (cm)	分枝数 (本)
7月9日 (06/04)	有	16.4	30.6	4.2
	無	16.3	31.0	4.7
7月17日 (06/20)	有	18.5	31.9	5.7
	無	16.2	27.5	5.3
8月9日 (07/05)	有	17.7	36.6	5.5
	無	17.2	35.4	5.4

注) 採花始期: 採花株率 10% 採花盛期: 採花  
株率 50% 採花終期: 採花株率 90%

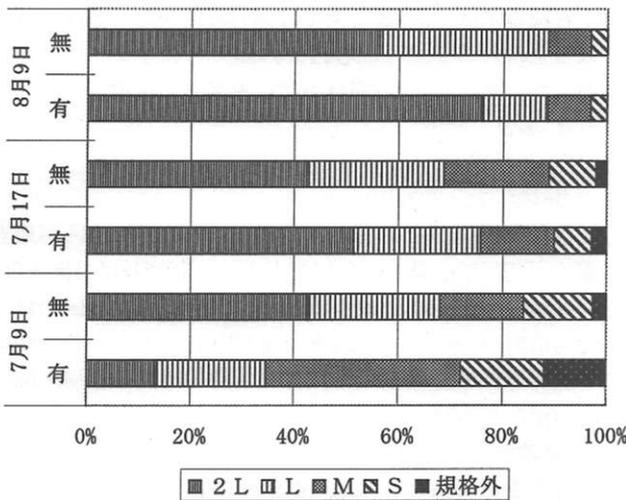


図1 短日処理が規格別採花割合に及ぼす影響

注) 2L～SまではA品規格

2L:100cm L:90cm M:80cm S:70cm

規格外は60cm以下のものおよびB品